

Title	三田史學研究會例會報告 昭和十一・十二・十三・十四年度
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1939
Jtitle	史学 Vol.18, No.1 (1939. 9) ,p.170- 172
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19390900-0170">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19390900-0170</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 彙 報

## 三田史學研究會例會報告

### 昭和十一・十二・十三・十四年度

昭和十一年

九月二十九日(火)午後三時於三田エビスビヤホール二階(第二百六十二回例會)

寬永十二年六月武家諸法度第十七條に就いて

松尾 善郎 君

奈良朝文化の一側面

淺子勝二郎 氏

十月十三日(火)午後三時於三田エビスビヤホール二階(第二百六十三回例會)

源頼朝の鎌倉奠府に就いて

齋 藤 威 君

古代に於ける母性について

松本 芳夫 氏

十一月十一日(水)午後三時於交詢社中食堂(第二百六十四回例會)

東洋兵學思想の源流序説

吉田 重成 君

日吉出土の上代遺物

保坂 三郎 氏

萬延元年遣米使節到着當時の米國新聞界の日本に對する知識

岩井 大慧 氏

十二月三日(木)午後三時於三田エビスビヤホール二階(第二百六十五回例會)

十五回例會)

東洋兵學思想の源流序説

吉田 重成 君

Alexander v. Siebold

今 宮 新 氏

昭和十二年

一月二十八日(木)午後三時於交詢社中食堂(第二百六十六回例會)

ベルギー獨立問題に於ける英佛の折衝について

丹 羽 軍 一 氏

皇陵の守護に就いて

和 田 軍 一 氏

二月九日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百六十七回例會)

西洋中世の騎士に就いて

齋 藤 德 平 君

ローマ皇帝トラヤヌスの東方政策に就いて

近 山 金 次 氏

二月二十三日(火)午後二時東洋軒洋間(第二百六十八回例會)塾長

歸朝歡迎並卒業論文披露會卒業生送別會

守護が土地に及ぼせし影響

屋 代 正 美 君

我が國を中心とするペルリの遠征と列強

會 田 倉 吉 君

正史に表はれた後漢時代の佛教

石 川 博 道 君

七夕歎

曾 根 正 哉 君

五月一日(土)午後三時半於交詢社中食堂(第二百六十九回例會)新

入生歡迎會

古代日本に於ける神人間の交渉關係

中 井 信 彦 君

第十六・七世紀に於ける西歐諸國の地理的事情

六月一日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百七十回例會)  
London 會社の Virginia 植民事業

有賀春雄氏  
高島正純君  
柴田常惠氏

川崎市南加瀬古墳發掘に就いて  
六月二十九日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百七十一回例會)

永野浩三君  
幸田成友氏

アメリカ貿易の海運時代  
九月二十八日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百七十二回例會)

西岡秀雄君  
松本信廣氏

日米學生會議より歸りて  
十月二十一日(木)午後三時於三田エビスビヤホール二階(第二百七十三回例會)

清水潤三君  
佐原六郎氏

ボストン博物館見學談  
オベリスクに就いて  
十一月十一日(木)午後三時於三田エビスビヤホール二階(第二百七十四回例會)

堀野滿治君  
間崎万里氏

上代の三關について  
アイルランド問題昨今  
十一月三十日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百七十五回例會)

金川太郎君  
伊丹榮七郎氏

マカオ渡航禁止御朱印狀について  
歐洲を見て  
昭和十三年

一月二十五日(水)午後三時於交詢社中食堂(第二百七十六回例會)

三絃傳來考  
神尾重砲君

ローマ法に於ける國民的なるもの  
二月十九日(土)午後二時於山水樓洋間(第二百七十七回例會)卒業  
論文披露會兼送別會  
森馨氏

マードレ・デ・デウス事件について  
金川太郎君

奈良朝に於ける陸上交通の一面  
堀野滿治君

豐臣秀吉のフイリツプン交渉——異國叢書所載の書翰を通じて  
松尾善郎君

日本古代宗教論序説  
中井信彦君

モンロー主義成立の由來  
永野浩三君

パーマーストンの外交政策  
丹羽幸一君

アラビア文化の西漸  
齋藤徳平君

四月二十八日(木)午後三時於山水樓洋間(第二百七十八回例會)新  
入生歡迎會  
一七九三年九月の「最高價格令」について  
鈴木泰平君

日吉附近に於ける最近の發掘について  
柴田常惠氏

五月十九日(木)午後三時於交詢社中食堂(第二百七十九回例會)

大正十二年關東大震災直後に於ける鐵道運輸について  
小川柳一君

中世フランドルの商業に就いて  
高村象平氏

六月九日(木)午後三時於三田エビスビヤホール二階(第二百八十回例會)

金貨流出以後

高橋 碩一氏

恭仁紫香兩宮の研究

清水 潤三君

古代に於ける一夫多妻制について

松本 芳夫氏

五月二日(火)午後三時於東洋軒洋間(第二百八十七回例會)新入生  
歡迎會

六月二十三日(木)午後三時於交詢社中食堂(第二百八十一回例會)

若櫻 木 叡君

前漢と匈奴の貿易關係

山口 文夫君

我國上代に見たる寺院奴婢について

兒島 喜久雄氏

支那の正統論に就いて

加藤 繁氏

美術史と歴史學

兒島 喜久雄氏

支那の正統論に就いて

加藤 繁氏

九月二十九日(木)午後三時於交詢社中食堂(第二百八十二回例會)

淺村 一郎君

五月十六日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百八十八回例會)

清水 秀雄君

匈奴の祭祀に就いて

淺村 一郎君

土倉考

清水 秀雄君

民國以來支那劇壇の變遷

中丸 市一郎氏

Empire, Reich の新用法とその意義及び譯語に就いて

間崎 万里氏

十一月八日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百八十三回例會)

川村 善三郎君

五月三十日(火)午後三時於交詢社内慶應俱樂部談話室(第二百八十九回例會)

間崎 万里氏

高句麗族の發展に就いて

川村 善三郎君

十九回例會)

宇山 雅陽君

文久二年遣歐使節に就いて

今宮 新氏

十九回例會)

宇山 雅陽君

十二月八日(木)午後三時於交詢社中食堂(第二百八十四回例會)

渡邊 基君

カラテの起源と其の發達

宇山 雅陽君

耶蘇會學校の財政について

渡邊 基君

Alvensleben Convention

恒松 安夫氏

地理學に於ける時間の問題

小島 榮次氏

六月十三日(火)午後三時於交詢社内慶應俱樂部談話室(第二百九十回例會)

恒松 安夫氏

昭和十四年

二月十四日(火)午後三時於交詢社中食堂(第二百八十五回例會)

西村 琢治君

耶蘇會土に依る蝦夷地布教

曾我 隼三君

員外國司に就いて

西村 琢治君

長久保赤水の世界圖について

犬塚 久雄氏

ローマ皇帝ユスチニヤヌスの東方政策に就いて

近山 金次氏

六月二十七日(火)午後三時於交詢社内慶應俱樂部談話室(第二百九十一回例會)

犬塚 久雄氏

二月二十三日(木)午後三時於山水樓洋間(第二百八十六回例會)卒業論文披露會送別會並松尾善郎氏應召歡送會

近山 金次氏

九十一回例會)

五十嵐 松郎君

物價騰貴と恐嚇政治下の社會

鈴木 泰平君

中世に於ける好古的傾向の一端

五十嵐 松郎君

業論文披露會送別會並松尾善郎氏應召歡送會

鈴木 泰平君

佛敎の受容に就いて

淺子 勝二郎氏

勾玉より觀たる史前文化終末期問題

西岡 秀雄君

佛敎の受容に就いて

淺子 勝二郎氏

三絃の傳來と徳川時代

神尾 重砲君

佛敎の受容に就いて

淺子 勝二郎氏